令和　３年　１月　１８日
改定　令和　３年　２月　１９日

需要家様　各位

大阪府大阪市北区角田町８－４７

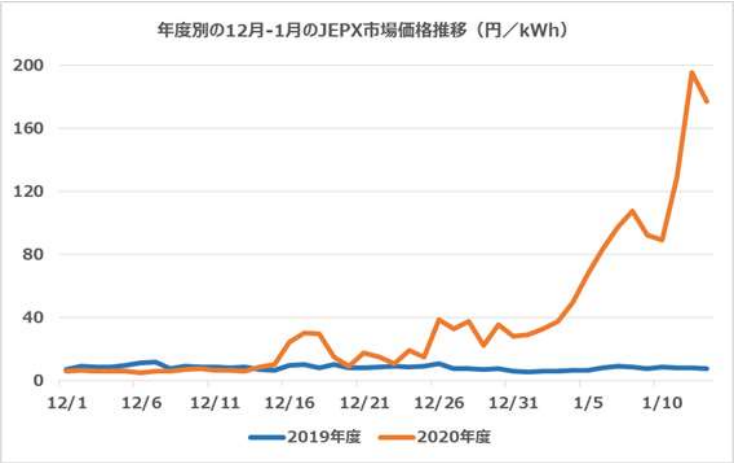
阪急グランドビル２０階

四つ葉電力株式会社

「市場価格調整費」プランを適応されている需要家様への案内【緊急】

「市場価格調整費」プランは、2016 年の電力自由化によって登場した新しい料金プランの 1 つであり、我々の仕入となる JEPX（日本卸電力取引所）の取引価格に連動して従量料金の単価が決まるため、市場価格が高い時間帯を避けて節約できるなどのメリットがあるプランです。

しかし、2020 年 12 月下旬頃から続く厳しい寒さで電気の需要が増え、海外から輸入している LNG（液化天然ガス）不足も手伝って JEPX（日本卸電力取引所）の取引価格は高騰しております。昨年 12 月中旬まで 10 円/kWh 前後で推移しておりましたが、2021 年 1 月 9 日に史上最高値の 120 円/kWh 超をつけると 10 日には一時 150 円/kWh、12 日には 200 円／kWh を超える場面もありました。つまり、電気の取引価格が先月や例年と比べて約 10 倍、20 倍近い異常な高値になっている状況です。「市場価格調整費」プランは市場価格が安いときは電気代がかなり安くなりますが、市場価格が上がると連動して価格は上がってしまいます。具体的には、皆様につきましても、皆様がご負担される本年 1 月ご使用分以降の電気代について、市場価格に連動して高騰いたします。今回の件は、日本の電気事業に関わる全ての会社に関わる大問題となっています。



（日本卸電力取引所（JEPX）の電力取引価格推移（出典はテラエナジー社の Web サイト）

この影響は、正直どれほど続くのかということははっきりとした見通しが立ちません。業界内では、本年２月末まで続くのではないかと言われています。皆さまのご負担を少しでも軽減できるよう、協力各社との調整を進めています。そこで、電気事業連合会からも呼びかけがございました（https://www.fepc.or.jp/）通り、皆様にも可能な範囲で節電にご協力をいただけますと、少しでも電気代を抑えることにつながります。

本来的には、皆様がご負担いただきます電気代金は市場価格に連動することから、市場価格が高騰すれば、電気代金もそのまま高騰することになります（その反面として安いときには連動して電気代金は安くなるわけです。事実、2019 年 2020 年は継続して安価でした）ただし、弊社は、皆様に対して、異常な高騰価格に連動した電気代金を皆様にそのまま請求することを本意とはいたしません。とは申せ、契約に基づくことなく、高騰時点において市場連動しない電気代金を皆様に請求しないとなれば、弊社としての事業経営が成り立ちゆきません。したがいまして、弊社といたしましては、「市場価格調整費」プランの請求パターンとして、前年度の同月の供給単価に対して、

① ２倍までは需要家様のご負担。

② ２倍以上は四つ葉電力負担。

とさせて頂きたく、その旨ご提案させていただきます。

厳しい寒さが続く状況であり、大変お願いしにくい内容ではございますが、お客さまにおかれましては可能な範囲で節電や電力利用時間帯の移行にお取り組みいただけますようお願い申し上げます。体調の管理にはくれぐれもご注意ください。ご質問等ございましたら、以下の連絡先までご連絡ください。

以上、要用にて失礼いたします。

連絡先：０１２０－０１６－４２８

以上